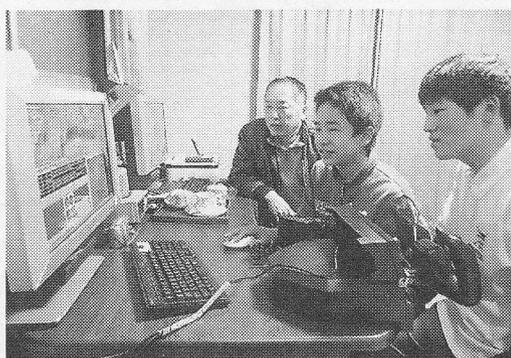


川西の中3、航空特殊無線技士合格

航空管制夢見た地元・松井さん指導

国家資格「航空特殊無線技士」＝の試験に、川西市の中学生が合格した。かつて航空管制の世界を夢見た地元在住の松井茂樹さん(57)が、自宅で対策講座を開き、手取り足取り教えてきた。「子どもの成長が何よりの宝物」。松井さんは喜んでい



合格したのは市立緑台中学校3年の前田丈二君(14)。前田君らを教えている松井さんは、米・ノースロップ工科大学で航空電子工学を学んだ。1981年に帰国後、大手電機メーカー勤務などを経て、7年前に退職。

昨年、近くの緑台中から課外授業の講師を依頼され、夏休みに中学生に英語を教えた。そのとき、「語学は手段。英語を使って学ぶことがいろいろある」と、機長らと英語で交信する航空管制を授業に採り入れた。授業で使ったゲーム感覚で疑似体験できるパソコンソフト「ぼくは航空管制官」に、卓球部仲間の前田君と上村悠君(14)が食いついてきた。生徒を本気にさせようと思っ

夏休みの課外授業きっかけ

「勉強しろ」とうるさい兄を見返したい(上村君)などに応じた。授業は秋以降も松井さんの家で、2人を相手に続いた。ヘリや家用機などとの通信に必要な「航空特殊無線技士」合格をめざし、「無線工学」「法規」の過去問題や、A(アルファ)、B(ブラボー)など管制業務用語(コード)を聞き取る「電気通信術」の練習を繰り返した。2人は難しさに戸惑ったが、練習問題の点数が徐々に上がり、

「手応えを感じてやめられなくなつた(前田君)という。今年2月、初受験で前田君が合格した。「学校の勉強とは達成感が違う。悠君がおらんかつたらでよかった」といい、さらに上級の「航空無線通信士」資格に挑むことにしている。あと一歩、届かなかった上村君も、模試では合格点に届くようになった。「こんなに本気で勉強したのは初めて。先を越されて悔しい。次は絶対に受かってやる」と、次の6月の試験に向けて勉強を続けている。

(吉野太郎)

航空特殊無線技士
 自家用機やヘリコプターとの通信など航空管制に必要な資格。国内空港で民間機の航空管制官になる場合は、国家公務員の採用試験に合格後、航空保安大学校(大阪府泉佐野市)などで研修を受け、この資格を取得する。自家用機などの操縦にも必要で、試験を実施する日本無線協会によると、昨年度は計1373人が受験し、1039人が合格した。うち15歳以下の合格者は前田君を含め2人だった。

阪神

自然の味を守って...
Try our taste
 www.uegaki-beika.co.jp

- 神戸総局 千650-0035 神戸市中央区 浪花町60 078(331)4144 fax 078(331)4149 mail:kobe@asahi.com
- 阪神支局 千662-0917 西宮市与古道町1-1 0798(33)5151 fax 0798(35)2070
- 尼崎支局 06(6419)4561 fax 06(6419)4562
- 宝塚支局 0797(72)2560
- 川西支局 072(757)9424 購読のお申し込みは 0120-33-0843 (7:00~21:00) 購読・配達のご用は 西 0798(33)2979 (10:00~17:00) =日・祝除く<
- 広告のご用は 戸 078(393)3536 折り込み広告は 阪 06(6226)1290 大 戸 078(842)6380

県職員互助会など
 きょう2.4億円返還
 高裁判決確定受け
 県職員、教員、警察官の